

## 【 1 】 予算組み替えの規模

- 外かく環状道路や環状2号線、新客船埠頭整備をはじめとした過大な都市インフラ整備や知事の海外出張費など、不要不急の施策を見直すことなどによる歳出の減額は、50項目2301億円となり、組み替えの規模は、知事提出の一般会計予算の3.3%です。
- これにより生み出した財源と、財政調整基金の一部取り崩しにより、都民の切実な要望にこたえる施策、128項目1159億円を予算化しました。
- 基金については、都財政の継続性・安定性を確保し都民に必要な分野の今後の財源確保に支障がないよう、当初予算で新たに積み立てを予定していた財政調整基金・社会資本等整備基金計70億円と、前年度までに積み立てられていた財政調整基金のうち285億円を活用することにとどめています。これにより、いわゆる活用可能な基金の残高は総額1兆1232億円（2016年度末）となります。
- 一般会計の予算規模は、東京都一般会計予算案に対し1142億円減額の、6兆8968億円となります。都民施策に積極的に予算配分する一方、不要不急の公共事業の削減で都債発行を1046億円減らしたことなどにより、若干の減額予算となっています。

2016年度東京都予算案に対する組み替え提案の規模

	金額	項目数	
歳出の減	△2301億円	50	知事提出の 予算案の 3.3%を 組み替え
歳出の増	1159億円	128	
差引	△1142億円		

※端数を四捨五入しているため歳出の減、増と差し引きが合わないことがあります。